

取扱説明書

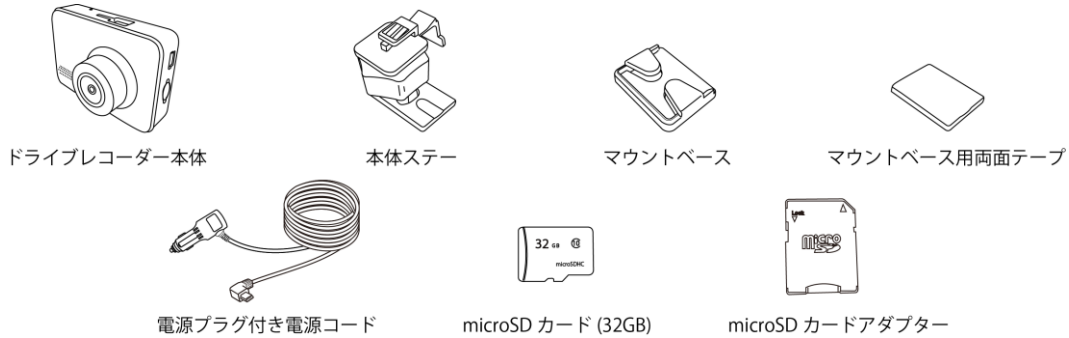
ドライブ・レコーダー

品番：# 1 1 2 1 5 4 0 0 0 型式：P A - V 2 5

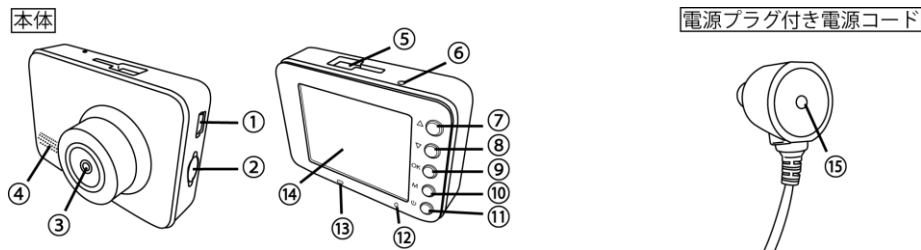
※本商品で64GB以上のmicroSDカードを使用する際は、『2, microSDカードの取り扱い ●microSDカードのフォーマット方法』を参照し、使用前に必ず本商品でフォーマットを行ってください。

1, セット内容と各部名称

●セット内容



●各部の名称と主な働き



- ① 電源プラグ付き電源コード接続ソケット (USB)
電源プラグ付き電源コードを接続します。
- ② microSD カードスロット
microSD カードを挿入します。
- ③ カメラレンズ
ビデオや静止画像を撮影します。
- ④ スピーカー
音声を出力します。
- ⑤ 本体ステー取付部
本体ステーを取り付けます。
- ⑥ リセットボタン
本製品が正しく作動しなくなった場合、システムリセットを行なうことで再起動します。
- ⑦ UPボタン
液晶のON/OFFやメニュー設定画面でのカーソル操作などを行います。
- ⑧ DOWNボタン
音声録音のON/OFFやメニュー設定画面でのカーソル操作などを行います。
- ⑨ OKボタン
録画の開始/停止やメニュー設定画面、再生メニュー画面での決定操作、ファイルの再生/一時停止操作などを行います。
- ⑩ Mボタン
緊急録画 (イベント録画) のON/OFFや再生メニュー画面の表示、前ページへ戻る操作などを行います。
- ⑪ 電源ボタン
長押しで主電源のON/OFFや静止画像撮影、メニュー設定画面の表示などを行います。
- ⑫ マイク
周辺の音声を集音します。
- ⑬ 通電LED
本体起動中に緑色に点灯します。
- ⑭ 液晶
ファイルやメニュー設定画面などを表示します。
- ⑮ 電源プラグ付き電源コード通電LED
通電中は緑色に点灯します。

※ボタン操作の詳細は、『4, 使用方法 ●液晶表示とボタン操作の関係について』を参照してください。

2, microSD カードの取り扱い

●microSD カードの挿入方法

※本商品の電源が切れていることを確認してから作業を行ってください。

付属の microSD カードのラベル面をカメラレンズ側に向けて、microSD カードスロットに“カチ”と音がするまで差し込んでください(図1参照)。

●microSD カードの取り出し方法

microSD カードスロットに挿入されている microSD カードを、“カチ”と音がするまで奥へ軽く押し込んでください。

microSD カードを取り出す事ができます(図2参照)。

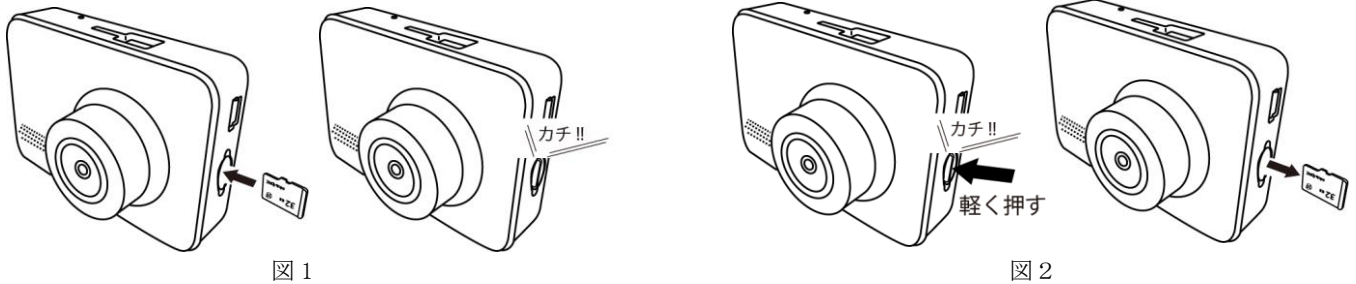


図1

図2

●最大録画可能時間

microSD カード容量	32GB	64GB	128GB
解像度別 最大録画 可能時間	1296P 約180分	約360分	約720分
	1080P 約190分	約380分	約760分

図3

- ・解像度別最大録画可能時間は、あくまでも目安の値となります。録画環境によって、録画時間に差が生じます。
- ・解像度別最大録画可能時間は、常時録画/イベント録画/静止画を含めた録画時間となります。
- ・常時録画/イベント録画共通で、microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから順に消去して録画を続けます。
※イベント録画の録画領域は十分に確保されており、すぐに上書き録画されることはありません。
- ・保存しておきたい録画ファイルは『7, バックアップ方法』を参照し、パソコンでバックアップを作成してください。
- ・microSD カード内の約2GBの容量は、常にシステム領域として確保されている為、録画使用できません。

●microSD カードのフォーマット方法

※初めて使用する際は、必ず本商品を使用して microSD カードのフォーマットを行ってください。また、microSD カードに保存されたファイルは、バックアップして、定期的(1週間に1回推奨)に本商品を使用してフォーマットしてください。

※本商品で64GB以上の microSD カードを使用する際は、使用前に必ず本商品でフォーマットを行ってください。

※フォーマットをする際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

※**フォーマットすると、microSD カード内の全てのファイルが消去されます。**ご注意ください。

- 1) 【OKボタン】を押して録画を停止し、【電源ボタン】を押して、メニュー設定画面を表示してください(『4, 使用方法 ●液晶表示とボタン操作の関係について』を参照)。
- 2) 【UPボタン】/【DOWNボタン】で『フォーマット』にカーソルを合わせ、【OKボタン】を押してください(図4-①参照)。
- 3) 液晶に『SDカードをフォーマットしますか?』と表示されるので、【UPボタン】/【DOWNボタン】で『OK』にカーソルを合わせ、【OKボタン】を押してください(図4-②参照)。
※フォーマットを中止する場合は、『Cancel』を選んでください。
※**本作業後は、フォーマット作業を中止することはできません。**
- 4) 液晶に『フォーマット中』と表示後、フォーマットが完了し、microSD カード内の全てのファイルが消去されます(図4-③参照)。
- 5) 作業完了後は、【Mボタン】を押して録画を再開してください。

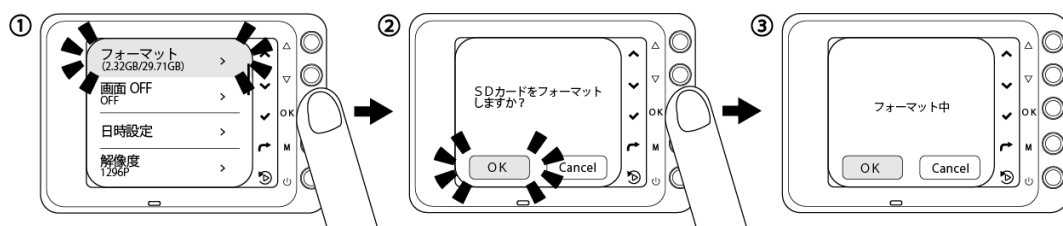


図4

3, 取付方法

●取付推奨位置(フロントガラス)を参考に取付位置を決めてください(図5参照)。

- ・フロントガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上のガラス開口部の実長20%以内の範囲の位置。又は、フロントガラスの下縁であって、車両中心面と平行な面上のガラス開口部から150mm以内の範囲の位置。
- ・運転支援システム、衝突安全装置等の動作に影響を及ぼさない位置。
- ・運転者の前方視界の妨げにならない位置。
- ・カメラレンズがワイパーの拭き取り範囲に入る位置。
- ・車検ステッカーと重ならない位置。
- ・カメラレンズが前方および左右に対して水平方向を向く位置。

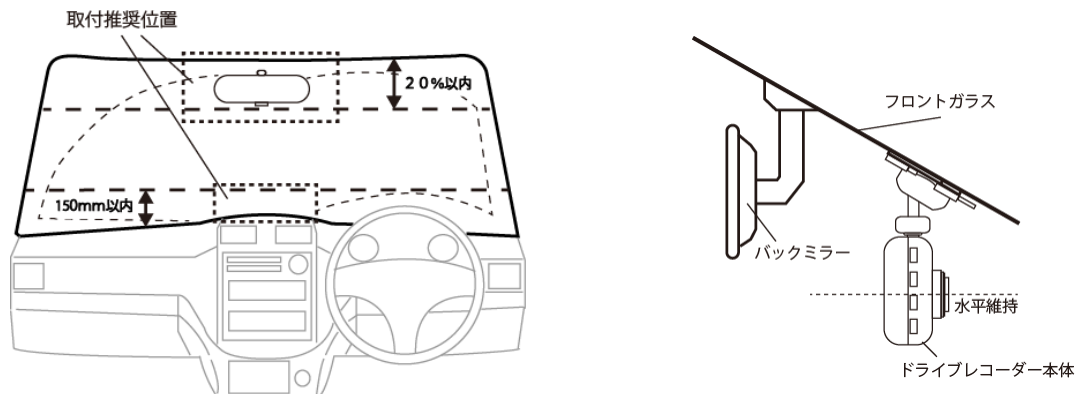


図5

- 1) 本商品を車両へ取り付けする前に、必ず作動テストを行い、正常に作動する事を確認してください。
- 2) 車両側取り付け部(フロントガラス)の油分や汚れをしっかりと拭き取ってください。
- 3) 本体ステーをマウントベースの開口部分にスライドさせて取り付けてください。その際、マウントベースの爪と本体ステーの溝が確実にハマっていることを確認してください(図6参照)。
- 4) 本体ステーを本体ステー取付部に差し込み、矢印の方向に本体ステーをスライドさせて確実に固定してください(図7参照)。
- 5) マウントベース裏面にマウントベース用両面テープを貼り付けしてください。
- 6) マウントベースの開口部分を上方方向に向け、車両へ取り付けしてください。そして、ドライブレコーダー本体を任意の角度に調整し、本体ステーの角度調整ナット時計回転方向へ締め付けて確実に固定してください(図8参照)。

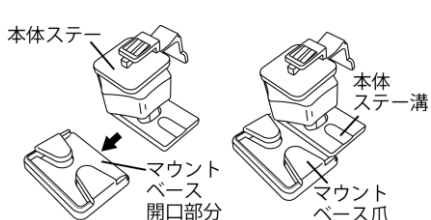


図6

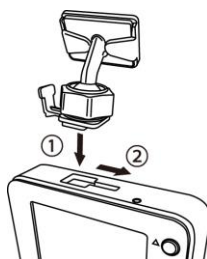


図7



図8

- 7) 電源プラグ付き電源コードのプラグを電源プラグ付き電源コード接続ソケット(USB)へ、電源プラグを車両側のアクセサリソケットにそれぞれ差し込んでください(図9、10参照)。
※電源プラグ付き電源コードを切断して使用しないでください。プラグ内で変圧しています。
- 8) コード類はピラー内等を通し、運転の妨げにならないように配線処理してください。必要に応じてコードクリップ等(付属していません)で配線を固定してください(図10参照)。

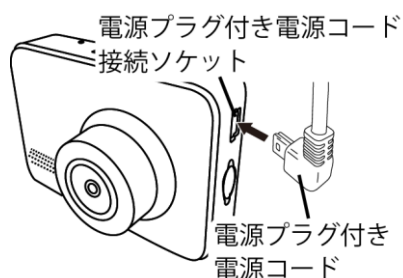


図9

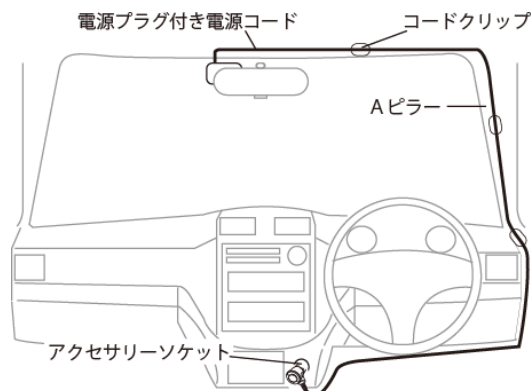


図10

※ヒューズが熔断した場合

電源プラグ付き電源コードを接続しても、ドライブレコーダー本体の電源が入らないときは、電源プラグ先端のローレット部分を反時計回転方向に回して取り外し、ヒューズを確認してください（図 1 1 参照）。

ヒューズが熔断している時は、新しいミニ管ヒューズ（3 A / 2 5 0 V）に交換してください。必ず**規定容量のヒューズと交換**してください。

ローレット部分を反時計回転方向に回し、ヒューズを取り外します。

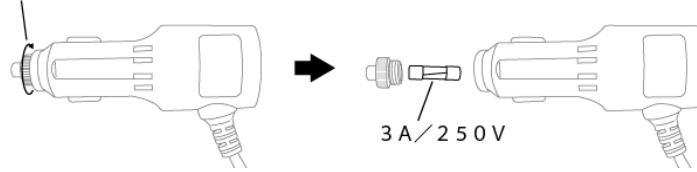


図 1 1

4, 使用方法

●電源のON/OFF

- 『3, 取付方法』の手順通りに配線された状態で、車両のエンジンを掛けてください。
- ドライブレコーダー本体の通電LED及び、電源プラグ付き電源コードの通電LEDが緑色に点灯し、本商品の電源が自動的にオンになります（図 1 2 参照）。
- 液晶にオープニング画面が表示されたのちシステムが起動します（図 1 2 参照）。
- エンジンを停止させると、電源が自動的にオフになります。

※本商品の【電源ボタン】を長押しすると手動で主電源のON/OFFを行うことができます。

電源プラグ付き電源コード

オープニング画面

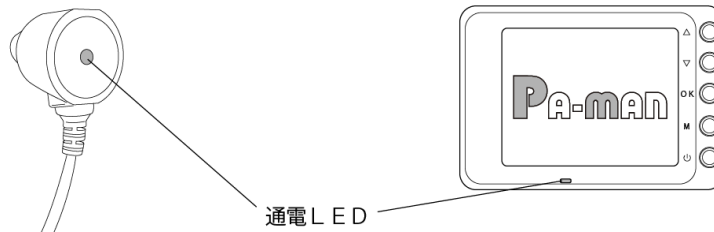


図 1 2

●液晶表示とボタン操作の関係について

・液晶の表示状態によって、本商品の各ボタンは下表のように動作します。

液晶表示	ボタン	【△】 UPボタン	【▽】 DOWNボタン	【OK】 OKボタン	【M】 Mボタン	【⏻】 電源ボタン
録画面面 	操作内容	液晶ON/OFF	音声録音ON/OFF	録画開始/停止	イベント録画ON/OFF 録画停止中は、再生メニュー画面へ切替	静止画像撮影 ※長押しで主電源ON/OFF 録画停止中は、メニュー設定画面へ切替
	アイコン		音声録音ONに設定中 音声録音OFFに設定中 	常時録画中 赤点滅 イベント録画中 黄点滅 録画停止中 	常時録画中 イベント録画中 黄点灯 	
再生メニュー画面 	操作内容	カーソル移動	カーソル移動	決定	録画面面へ切替	メニュー設定画面へ切替
	アイコン					
メニュー設定画面 	操作内容	カーソル移動	カーソル移動	決定	録画面面へ切替	再生メニュー画面へ切替
	アイコン					

●静止画像撮影

- 録画面面で【電源ボタン】を押すと、静止画像を撮影することができます（図 1 3 参照）。
※静止画像を撮影しても録画は中断されません。

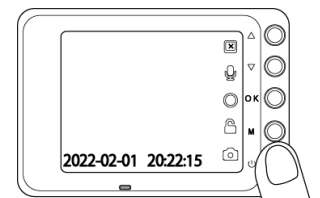




図 1 3

●各種録画について




- ・常時録画／イベント録画共通で、microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから順に消去して録画を続けます。
※イベント録画の録画領域は十分に確保されており、すぐに上書き録画されることはありません。
- ※各種録画の動作状況に関しては、図 1 4 を参照してください。

○常時録画（ループ録画）

- 1) 本商品が起動すると同時に、液晶の【】アイコンが赤色に点滅【】し、常時録画が自動的に開始します。
- 2) 常時録画では設定した時間ごと（『6, メニュー設定一覧』を参照）にファイルを分割して連続で録画します。
microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから順に消去して録画を続けます。
- 3) 録画を開始／停止するときは、【OKボタン】を押してください。

○イベント録画

・衝撃録画

- 1) 常時録画（ループ録画）中に、突発的な衝撃や予期しない衝突などを感知し、内蔵のGセンサが作動した場合（Gセンサを1～5段階設定）、常時録画を中断し、その時点のファイルをイベント録画ファイルとして録画します。イベント録画後は、自動的に常時録画に戻ります。
- 2) 衝撃を感知すると、液晶の【】アイコンが【】に切り替わり、アイコンが黄色に点灯します。
また、イベント録画中は、液晶の赤色点滅しているアイコンが黄色点滅【】に切り替わります。

・緊急録画

- 1) 常時録画（ループ録画）中にイベント録画を行いたい場合は、【Mボタン】を押すとイベント録画を手動で行ないます。
- 2) アイコン表示、ファイルの録画条件は、『○イベント録画 ・ 衝撃録画』と同様です。

○常時録画（ループ録画）



○イベント録画（衝撃録画）



図 1 4

●ファイルの再生

○再生方法

※再生メニュー画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

- 1) 【OKボタン】を押して録画を停止し、【Mボタン】を押して、再生メニュー画面を表示してください（『4, 使用方法 ●液晶表示とボタン操作の関係について』を参照）。
- 2) 【UPボタン】／【DOWNボタン】で再生したいフォルダにカーソルを合わせ、【OKボタン】を押してフォルダを開いてください（図 1 5-①参照）。
- 3) 【UPボタン】／【DOWNボタン】で再生したいファイルにカーソルを合わせ、【OKボタン】を押すと録画ファイルを再生することができます（図 1 5-②参照）。

※静止画像ファイルは液晶に表示されます。

※再生時に表示される各種アイコンの基本的な見方は図 1 5-③の通りです。

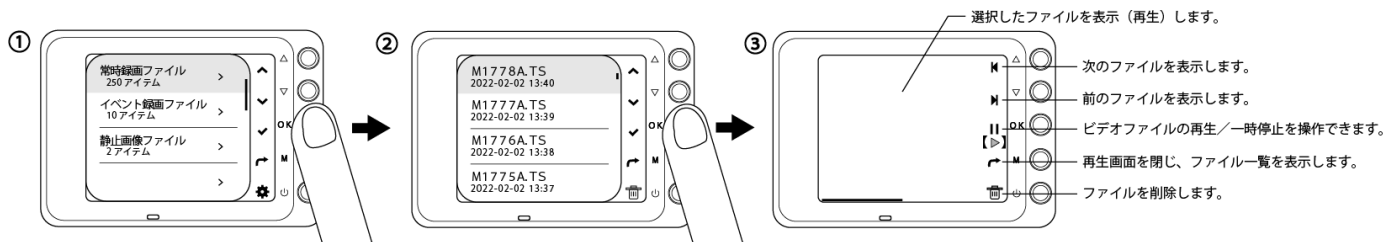


図 1 5

○ファイル名について

- ・常時録画ファイル : M****A. TS
- ・イベント録画ファイル(衝撃録画／緊急録画) : S****A. TS
- ・静止画像ファイル : D****A. J P G

○ファイルの削除方法

録画したビデオファイルや撮影した静止画像ファイルの削除を行ないます。

※ファイルの削除操作は、再生メニュー画面で行います。再生メニュー画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

- 1) 再生メニュー画面を表示（『●ファイルの再生 ○再生方法』を参照）し、【UPボタン】／【DOWNボタン】で削除したいファイルにカーソルを合わせ、【電源ボタン】を押してください（図16-①参照）。
- 2) 液晶に『ファイルを削除しますか?』と表示されるので、【UPボタン】／【DOWNボタン】で『OK』にカーソルを合わせ、【OKボタン】を押してファイルを削除してください（図16-②参照）。

ファイル選択に戻りたい場合は、【Mボタン】を押してください。また、ファイル内容を再確認したい場合は【電源ボタン】を押すと表示（再生）することができます。

※削除を中止する場合は、『Cancel』を選んでください。

※本作業後は、削除作業を中止することはできません。

※それぞれのファイル表示（再生）中に【電源ボタン】を押すことでも、ファイル削除を行うことができます。

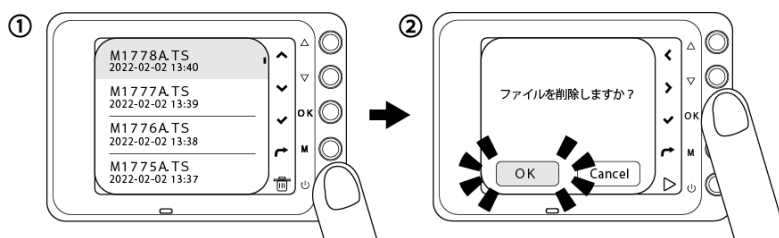


図 1 6

5, 日付と時刻の設定

本商品をご購入後、初めて使用する場合は、日付と時刻の設定を行なってください。

※日付と時刻の設定操作は、メニュー設定画面で行います。メニュー設定画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

- 1) 【OKボタン】を押して録画を停止し、【電源ボタン】を押して、メニュー設定画面を表示してください（『4, 使用方法 ●液晶表示とボタン操作の関係について』を参照）。
- 2) 【UPボタン】／【DOWNボタン】で『日時設定』にカーソルを合わせ、【OKボタン】を押してください。
- 3) 【UPボタン】／【DOWNボタン】で項目を変更し、【Mボタン】／【電源ボタン】で設定してください。
- 4) 【OKボタン】を押して設定を終了してください。

6, メニュー設定一覧

※メニュー設定画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

- 1) 【OKボタン】を押して録画を停止し、【電源ボタン】を押して、メニュー設定画面を表示してください（『4, 使用方法 ●液晶表示とボタン操作の関係について』を参照）。
- 2) 下記一覧表の内容を参考に設定してください。

(◆) : 出荷時の設定です。

メニュー項目	機能説明	選択項目	設定内容
フォーマット	microSD カード内のファイルをフォーマットします。	OK / Cancel	OK 選択で、カード内のファイルをフォーマットします。 ※詳細は、『2, microSD カードの取り扱い ●microSD カードのフォーマット方法』を参照。 ※フォーマットする前に重要なファイルをパソコンなどにバックアップしてください。
画面OFF	選択した時間で、起動中の液晶表示をOFFにすることができます。	・OFF (◆) ・10秒 ・30秒	画面OFF機能は作動しません。 10秒に設定します。 30秒に設定します。
日時設定	日付/時間の設定を行います。	—	設定方法は、『5, 日付と時刻の設定』を参照してください。
解像度	カメラの録画解像度を設定することができます。	・1296P ・1080P (◆)	SHDサイズ(約300万画素)に設定します。 FHDサイズ(約200万画素)に設定します。
ループ録画	常時録画(ループ録画)による1ファイルあたりの録画時間を設定することができます。	・1分 (◆) ・2分 ・3分	1ファイル1分間として録画を行ないます。 1ファイル2分間として録画を行ないます。 1ファイル3分間として録画を行ないます。
Gセンサ	車両への衝撃を検出する感度を設定することができます。	・OFF ・1 (◆) ・2 ・3 ・4 ・5	Gセンサ機能は作動しません(衝撃を検出しません)。 低感度に設定します。 ↓ 高感度に設定します。 ※詳細は、『4, 使用方法 ●各種録画について』を参照。

音量	スピーカー音量や操作音量を設定することができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・OFF ・5%(◆) ・10% ・20% ・30% ・40% ・50% ・60% ・70% ・80% ・90% ・100% 	<p>音声は鳴りません。 最小音量に設定します。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>最大音声に設定します。</p>
露出	ビデオ録画時の明るさを調整する為に、露出レベルを設定できます。	<ul style="list-style-type: none"> ・-6 ・-5 ・-4 ・-3 ・-2 ・-1 ・0(◆) ・+1 ・+2 ・+3 ・+4 ・+5 ・+6 	<p>輝度を最小(暗く)に設定します。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>輝度を最大(明るく)に設定します。</p>
音声録音	ビデオ録画時の音声録音を設定することができます。	ON(◆)/OFF	音声録音のON/OFFを設定します。
日付表示	録画したビデオファイルに日付/時間を表示する設定ができます。	ON(◆)/OFF	日付表示のON/OFFを設定します。
言語	表示言語を設定することができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・English ・中文 ・日本語(◆) 	<p>英語表示に設定します。</p> <p>中国語表示に設定します。</p> <p>日本語表示に設定します。</p>
バージョン	バージョン情報の確認ができます。	—	—
設定初期化	設定を初期化することができます。	OK/Cancel	OK選択で各種設定を初期化し、出荷時の状態に戻します。

7, バックアップ方法

※microSD カードに保存されたファイルのバックアップは、定期的に作成してください。

- 1) カードリーダーなどを利用してmicroSD カード内のファイルをパソコンで読み込んでください。
- 2) 読み込み後、『CARDV』フォルダを開いてください。
- 3) 保存されたファイルを確認してください。

全てのファイルが『CARDV』フォルダ内に保存されています。フォルダを開くと一覧で表示されます。ファイル名に関しては、『4, 使用方法 ●ファイルの再生 ○ファイル名について』を参照してください。

※パソコンでファイルにアクセスした場合、ファイル名の拡張子は表示されません。

- 4) 保存したいファイルをコピーし、パソコン内でバックアップを作成してください。

8, エラーメッセージ表示

・本商品使用中にエラーが発生すると、下記メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認の上、対処してください。

表示メッセージ	原因	対処・内容
SDカードを挿入してください	本商品に microSD カードが挿入されていません。	<p>microSD カードを挿入してください。</p> <p>microSD カードが挿入されている場合は、本商品で認識できずエラーになっている可能性があります。</p> <p>『7, バックアップ方法』、『2, microSD カードの取り扱い ●microSD カードのフォーマット方法』を参照し、必要なファイルのバックアップを作成し、フォーマットを行ってください。</p> <p>改善しない場合は、microSD カードを新しいmicroSD カードへ交換してください。</p>
SDカードエラー	microSD カードが認識できず、エラーになっている可能性があります。	<p>microSD カードが認識できず、エラーになっている可能性があります。</p> <p>『7, バックアップ方法』、『2, microSD カードの取り扱い ●microSD カードのフォーマット方法』を参照し、必要なファイルのバックアップを作成し、フォーマットを行ってください。</p> <p>改善しない場合は、microSD カードを新しいmicroSD カードへ交換してください。</p>

9, システムリセット方法

※本商品が何らかの影響で誤作動や、止まってしまった場合、システムリセットを行なってください。

- 1) ドライブレコーダー本体上面のリセットボタンを押してください。先の細いピン等を使用し、ボタンを押すとリセットされます。
- 2) 電源が切れて、再起動します。再起動後、正常に作動していることを確認してください。

10, 注意事項

⚠危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う事になるもの。)	
1.	運転中は、本商品の操作を絶対にしない でください。交通事故の原因になります。操作をする場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
2.	本商品、及び配線等は、運転者の視界や運転操作の妨げになる場所に設置しない でください。また、正しく確実に取り付けししてください。正しく取り付けされていない場合、交通事故の原因になります。
3.	本商品の電源電圧は、 DC12/24V です。その他の電圧で使用すると火災や感電、故障の原因となります。
4.	電源プラグ付き電源コードを切断して使用しない でください。本商品は電源プラグ内で変圧しています。
5.	本商品を エアバッグが作動する近くに設置しない でください。事故発生時にエアバッグが正常に作動しない恐れがあります。また、作動したエアバッグによりケガの原因となります。
6.	医療用電気機器の近くでは使用しないでください。電波により、何らかの影響を与える恐れがあります。
7.	道路運送車両法を遵守 して、本商品の取り付け、使用を行なってください。
⚠警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う危険性があるもの。)	
1.	本商品の取り付けは、必ず車両のエンジンを切った状態で行なってください。車両のキーがONの状態で行けると、感電および故障の原因となります。
2.	各種コード及びケーブルを傷付けたり、加工したり、無理な折り曲げや引っ張ったりしないでください。感電及び火災の原因となります。
3.	本商品の内部に金属や異物を入れない でください。火災や感電、故障の原因となります。
4.	本商品は防水仕様ではありません。屋外には設置しないでください。
5.	水が掛かる様な場所や埃が多い場所では、使用しないでください。接触不良により、感電及び火災の原因となります。
6.	本商品を取り付けする際は、必ず付属部品を使用してください。
7.	本商品の分解、修理、改造は、絶対にしないでください。故障の原因になります。
8.	本商品の作動に異常 (異常な音や臭い/煙/破損/水や異物の混入/作動不良等)がある場合は、直ちに使用を中止してください。火災などの原因となります。
9.	本商品の 動作温度範囲は0℃~60℃ です。その他の温度で保管、使用すると、製品の変形及び、火災、爆発の原因となります。夏場の駐車時は、サンシェードなどで車内温度上昇を防いでください。
10.	本商品の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。表面の変質や塗料が剥げることがあり、故障及び火災の原因となります。
11.	ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させないでください。表面の変質や塗料が剥げることがあり、故障及び火災の原因となります。また紫外線の影響で変色や変質などの劣化が起きることがあります。
12.	電源プラグ付き電源コード、又は電源プラグ付き電源コード接続ソケット周辺等の埃や汚れはよく拭いて取り除いてください。接触不良による感電及び火災の原因となります。
13.	電源プラグ付き電源コードの電源プラグは、車両のアクセサリソケットへ奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込んでいない場合、接触不良で発熱し電源プラグが破損する恐れがあります。
14.	本商品は、車両のアクセサリソケットで 単独使用 してください。増設ソケットなどで、複数の電化製品と同時使用しないでください。
15.	本商品を使用及び取り付ける機器 (乗用車、トラック、各種電源等)の取扱説明書も合わせてご確認の上、使用してください。
⚠注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)	
1.	車のエンジンを停止した状態で、本商品を使用しないでください。車のバッテリーが消耗する原因になります。
2.	濡れた手で本商品の操作、配線作業をしないでください。感電、ショート、火災の原因になります。
3.	本商品に強い衝撃を与えないでください。衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
4.	本商品の近くに磁気性がある物を置かない でください。製品の誤作動及び故障の原因となります。
5.	テレビアンテナやレーダー探知機等の電気製品を設置している付近に本商品を取り付けると、電波の干渉により録画/撮影されたファイルにノイズが発生、ファイル損失する恐れがあります。この様な場合は、本商品と離して設置する事でノイズが軽減されます。
6.	ダッシュボードの形状や材質、色付きガラス、劣化した車体や内装の表面、及び清掃等で使用した洗剤や艶出剤等の様々な影響で、microSDカードに録画/撮影されたファイルが歪んだり、反射光が映り込んだり、暗くなる恐れがあります。
7.	急激に明るさや逆光が強い場合、夜に光源がない場合等の条件下では録画品質が落ちる恐れがあります。
8.	天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前方の状況を正しく認識できない恐れがあります。
9.	暗い環境では、なるべく高画質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプを点灯させてください。
10.	フロントガラス表面や本商品のカメラレンズの表面はいつもキレイにしておいてください。
11.	LED方式の信号機では、点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする恐れがあります。 また、色の識別ができない恐れがあります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
12.	本商品は車両に取り付けて使用するドライブレコーダーです。その他の用途には使用しないでください。
13.	本商品は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。
14.	本商品は 自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
15.	本商品はすべての状況下で録画を保証するものではありません。

16. 本商品はGセンサーで衝撃を感知して事故発生前後の録画/撮影されたファイルを記録しますが、全ての状況において記録を保証するものではありません。
17. 本商品の故障や使用による損害、また録画/撮影されたファイルの破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
18. 本商品で録画/撮影された被写体等は、プライバシーの侵害となる恐れがあります。取り扱いにご注意ください。
19. 万一の故障による、本商品の取り外し費用、及び再取り付け費用は、お客様のご負担になります。予め、ご了承ください。
20. 本商品の各機能は、設定・設置状況・microSDカードの状態・走行環境(路面状況等)の影響により、正しく作動しない恐れがあります。
21. 本商品で撮影できる範囲には限界があります。予め記録される映像を確認の上、ご使用ください。
22. microSDカードは、必ず本商品の電源が切れていることを確認してから取り外してください。
23. microSDカードに保存されたファイルは、バックアップして、**定期的(1週間に1回推奨)に本商品を使用してフォーマットしてください。**外部環境、又は長期間使用している間に、ファイルが消去される恐れがあります。
24. microSDカードをフォーマットする時は、必ずmicroSDカード内の必要なファイルを、パソコンのハードディスク等に保存してください。フォーマットをすると、microSDカード内の全てのファイルが消去されます。
25. ファイルのフォーマット及び動作中にはmicroSDカードの抜き差しをしないでください。記録したファイルの損傷、本商品破損の原因になります。
26. microSDカードをフォーマットする際は、必ず本商品のフォーマット機能を使用してください。
27. 本商品で使用するmicroSDカードに他のファイルを保存したり、他の機器に使用しないでください。正しく作動しなくなる恐れがあります。
28. 市販品の新しいmicroSDカードを使用する時は、最初に本商品を使用してフォーマットしてください。
29. 本商品で**64GB以上のmicroSDカードを使用する際は、使用前に必ず本商品でフォーマットしてください。**
30. 市販品のmicroSDカードを使用した場合による、本商品の動作異常に関して、当社では一切の責任を負いません。
31. microSDカードに保存されたファイルが何らかの原因により破損や消去された場合、当社では一切の保証、復元は出来ません。予め、ご了承ください。
32. microSDカードには寿命があります。長期間使用していると正常な録画ができない恐れがあります。不具合が発生した場合は、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
33. 本商品は、32GB～128GB、Class 10のmicroSDカードに対応しています。但し、全てのmicroSDカードに対して動作を保証するものではありません。
34. アクセサリーソケットの形状により、取り付けできない車種があります。ご了承ください。

